健康生活お役立ち新聞

横浜版

2021年5月

No.58

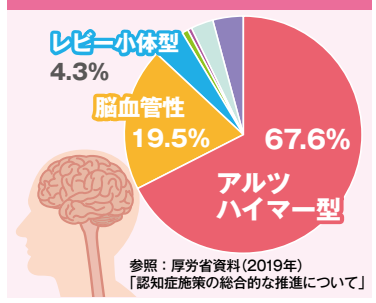
発行所　(有)エフ.アンド.ユアライフ　〒253-0084 茅ヶ崎市円蔵370-20　電話(0467)58-5678

認知症は進行が早い

心配な「もの忘れ」は、早めに検査を！

記憶の不確かさは、加齢によるものと思いがちです。しかし、脳細胞の病気である「認知症」のほか、「鬱病」や「難聴」による記憶違いなどもあり、医療機関で正しく診てもらうことが大切です。

加齢とともに、「最近、忘れっぽくなったなぁ」とため息をつくことはありませんか？忘れについて、高齢によるただの「もの忘れ」なのか、それとも病気が発症していて「認知症」などの症状なのか、不安に思う人は少なくないでしょう。



では、「もの忘れ」と「認知症」は一体どのように違うのでしょうか。

忘れの自覚があるか

覚えが悪くなったり、名前が思い出せなくなったりすることは、脳の老化が影響した加齢によるもの忘れです。例えば、朝食の内容（何を食べたか）を忘れることなどが挙げられます。これは、忘れている自覚があるといえます。

それに対し、ご飯を食べたこと自体が記憶になく、それを指摘すると怒り出すように、忘れている自覚がない場合は、認知症である可能性があります。

認知症は脳の病気

認知症とは、すでに正常に発達した脳の知的機能（認知機能）である【記憶】【学習】【判断】【計画】が、何らかの病気の影響で働きが低下する脳の病気です。そのため、日常・社会生活に支障をきたす行動などを起こします。

認知症の中でも「アルツハイマー型認知症」が半数以上を占め、次に「脳血管性認知症」、そして「レビー小体型認知症」と続きます。（厚労省「認知症施策の総合的な推進について」２０１９年）

似た症状がある他の病気も

しかし、認知症の症状に似ているものとして、面倒で覚えられない「鬱病」や、聞こえていないだけの「難聴」などに代表される高齢者に多い疾患もあります。

認知症は、加齢によるもの忘れに比べて、進行が早い傾向にあります。忘れの状態が心配な場合は、早めに診てもらうようにしましょう。

診断後のサポート体制もしっかり

認知症検査は「鶴見ホスピタル」で

物忘れ専門外来 担当　石井映幸 副院長

ふれあい鶴見ホスピタル（鶴見区東寺尾４の４の22）の「物忘れ専門外来」は、石井副院長＝6月23日㈬医学講座を開催＝が担当しています。各種検査のほか、介護サービスの支援も行なっています。〈取材協力〉

ふれあい鶴見ホスピタル
脳神経外科
石井 映幸 副院長

ふれあい鶴見ホスピタルの「物忘れ専門外来」では、診察・検査だけではなく、症状に沿った介護サービスのサポートも行なっています。高齢者診療に対する「地域密着型」を追及した形として、注目されている同外来の診察・サービス内容を紹介します。

①「VSRAD検査」
…MRI画像診断

アルツハイマー型認知症では、進行すると内側側頭部（海馬）の萎縮＝右下画像参照＝が起こることが多く、この検査はとても重要になります。

②記憶力の検査
…OT・STの問診

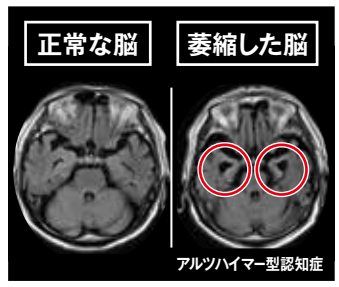
作業療法士（OT）・言語聴覚士（ST）が、個別に認知機能の評価を行ないます。日付確認など簡単な記憶検査から、鬱傾向を診る検査までも実施し、認知症に酷似する高齢者の「鬱病」などとの鑑別も可能にしています。

③採血検査

一般的な【糖尿病】【脂質異常】のほか、もの忘れに関係する【甲状腺ホルモン】【ビタミンB群】なども検査します。

④認知症の予防
…管理栄養士の指導

希望者には、認知症の予防や進行を遅らせるために効果的と考えられる栄養指導を行なっています。管理栄養士がバランスの良い食事・栄養を指導します。



⑤介護サービスの案内
…ケアマネジャー

同院に常駐しているケアマネジャーから、介護保険サービスの案内または調整が受けられます。「軽度認知症」と診断された人が、訪問看護による服薬管理や、自宅で訪問リハビリテーションを利用するケースが多いようです。

■ふれあい鶴見ホスピタル
☎045・586・1717

爪にも侵入！足だけではない「爪水虫」

「水虫」と聞くと、足の指と指の間に発症するイメージがあります。しかし、爪や、爪まわりに発症する「爪水虫」というものもあります。

足の水虫を抱えている人には、白癬菌というカビの一種が、皮膚から爪の中へ侵入して起こります。爪単独で水虫を発症するケースは少なく、多くは、もともと足に水虫を発症している状態から、爪に感染していきます。

足の水虫の症状に気付いたら、早く皮膚科を受診し、爪への感染を予防しながら水虫の治療を受けるようにしましょう。爪水虫の治療では、「抗真菌剤」を使用することが多く、白癬菌を殺菌する処置が行なわれます。

もしかしてっ!!!
これ、爪水虫？

- ☑爪が白や黄色に濁っている
- ☑爪が厚くなっていたり、ボロボロと欠けたりする
- ☑日中は靴を履いていることが多い
- ☑水虫にかかったことがある、もしくは今、かかっている
- ☑靴を履いたり、歩く時に爪の部分が痛い

＊上記は爪水虫に多い内容ですが、該当しなくても、気になる症状は早めに皮膚科を受診しましょう。

原因は感染

爪水虫で併発することが多く、水虫特有のかゆみの症状がないため、なかなか自分ではわかりにくい病気です。爪がガサガサするようになったり、ボロボロと崩れ落ちていくといった症状があり、本人の自覚なしに進行してしまうことが多いようです。

「水虫・ワキガ・ニキビなど皮膚の悩みはすぐに当院へ！」

ふれあい東戸塚ホスピタル　皮膚科

ふれあい東戸塚ホスピタルでは、皮膚科の外来診療を毎週木曜日午後に行なっています。皮膚科担当のスタッフにお話を聞きました。

Q.皮膚科ではどのような内容を扱っているのですか？

A.当院では、皮膚に生じるほとんどの病気の診療を行なっています。かぶれ、アトピー性皮膚炎などの湿疹・皮膚炎、じんましん、水虫（白癬）、帯状疱疹などです。

Q.「爪水虫」の治療も行なっているのですか？

A.はい。爪水虫では、主に抗真菌薬による薬物治療になります。抗真菌薬には、塗って治す外用薬と、飲んで治す内服薬があります。どちらの薬も、皮膚科の外来にて、処方しております。

Q.花粉症やワキガも扱っていると聞きましたが…？

A.はい、そうです。花粉症の原因となる花粉は、ヒノキやブタクサをはじめ、一年中飛散していることから、患者さまお一人おひとりの症状に対して、治療内容を考えています。それはワキガ治療に対しても同じです。脇の下は、もともと汗腺が多く、緊張やストレスなどの精神的な刺激や、気候や運動にともなう温熱刺激の両方で発汗が促進されるため、汗をかきやすい部位であることから、患者さまの状態をしっかりと診察して、治療内容を提案します。

また当院では、小児の診療、思春期のニキビ等の皮膚トラブルにも対応しております。

皮膚科は目で見える疾患を扱うため、患者さまの精神的な負担も多い分野です。お悩み事は、お気軽に当院へご相談ください。〈取材協力〉

ふれあい東戸塚ホスピタル
横浜市戸塚区上品濃16-8
☎045(827)2637
皮膚科　毎週木曜日・午後
【受付】13:30~16:30

ふれあいグループ
ふれあい健康友の会

ふれあいグループの各施設において、優先的に様々なサポート・サービスを受けることが出来ます。

入会年会費無料

会員募集中

Web医学講座　無料公開

公開 6月28日(月)から
会場 当院ホームページ上で視聴

講師 ふれあい東戸塚ホスピタル 総合診療科・呼吸器内科 本間 和夫 副院長

高齢者が健康に長生きするには？

日本人の寿命は、とても長いことが知られていますが、果たして健康に過ごすことができる「寿命」は、どのくらいなのでしょうか？私たちが今からできる「健康に長生きするためのコツ」について、当院の本間副院長がわかりやすく説明します。

公開日以降に動画をご覧ください

Web医学講座は、当院のホームページにアップされた動画を無料で視聴することができます。お気軽にご視聴ください。

QRコードからホームページへ！

QRコード

お問合せ
ふれあい東戸塚ホスピタル
☎045-827-2637（代表）
横浜市戸塚区上品濃16-8

オンライン同時開催！医学講座　参加無料

日時 6月23日(水)13:00~14:00
会場 ふれあい鶴見ホスピタル1階 会議室

講師 ふれあい鶴見ホスピタル 脳神経外科 石井 映幸 副院長

物忘れ外来ってどんなことするの？ ～「忘れっぽくなったな」と思ったら～

脳神経外科医であり、当院で「物忘れ専門外来」を担当している石井映幸医師が、この専門外来の診察や検査内容などを紹介します。「最近、忘れがひどくなってきたけれど、受診には勇気がいる」という方は、お気軽にご視聴ください。

アクセス

新子安駅から無料シャトルバスで約5分
鶴見区東寺尾4-4-22

お問合せ
ふれあい鶴見ホスピタル
☎045-586-1717（代表）

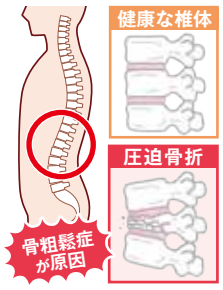
会場・オンラインどちらも無料！事前ご予約を
オンライン視聴の方法はHP（ホームページ）をご覧ください。（インターネット）

会場入場（定員20名）をご希望される方は、お電話でご予約ください。

ふれあい横浜ホスピタル　整形外科

予防的治療から手術・リハビリまで 一連のプロセスを提供

ふれあい横浜ホスピタルの整形外科では、主に体の姿勢や運動に関係する部位である手足（四肢）、背骨（脊椎）などの筋骨格系のけが・病気を扱っています。腰痛、頚部痛、肩こり、膝の痛み、しびれなどの知覚障害、四肢の変形、腫れ、運動障害、姿勢異常、歩行障害などを抱えている人は、これらのけがや病気の可能性があります。



整形外科にかかる疾患といえば、「骨折」「捻挫」などが思い浮かびますが、骨粗鬆症で受診する人が増えています。高齢者に多い病気では、症状が出る前の予防的な治療は大事であり、関内にある「ふれあい横浜ホスピタル」でも、一般外傷の治療のほか、骨粗鬆症の予防的な治療も実施しています。

同院で整形外科を担当する戸口淳医師＝**今号「この人に聞く」で紹介・6月30日㈬に医学講座を開催**＝は、近年、骨粗鬆症による脊椎圧迫骨折が増加している状況から、「保存療法」や、人工骨の手術「椎体形成術」などの治療経験をもつ専門医です。戸口医師のお話を紹介します。

（以下、戸口医師談）

骨粗鬆症による骨折の増加

「整形外科という診療科は、新生児から高齢者まで、生涯を通して関わる重要な科です。そのため、とても幅広い疾患を扱うことになります。

私は、特に『脊椎疾患』では、さまざまな症状を呈する疾患に対し、丁寧な診察、各種の画像診断、神経根ブロックなどの保存療法から手術的治療まで、病状・病態に合わせた治療を心掛けています。

これらの疾患では、高齢患者さまが多いので、手術では、低侵襲の治療を実施するようにしています。特に最近は、骨粗鬆症を基盤とした『脊椎圧迫骨折』を抱える患者さまが多く、そのような患者さまに対して、病態に合わせて、装具による保存療法だけでなく、人工骨を充填する『椎体形成術』など、お一人おひとりに合わせた内容を提案しております。

私はこれまで、脊椎疾患に限らず、幅広く診察・治療を行なってまいりましたが、その中で、保存療法をはじめ、手術からリハビリテーションに至るまで、『患者さまをトータルに診る』ということをモットーにしてきました。これを実行するためには、各分野の専門医の助言を得たり、地域のクリニックや病院、大学などとの密な連携も重要だと考えています。

さらに、昨今、刻々と変化する医療情勢に、日々の研鑽を怠ることなく、学会への参加・発表も積極的に行ない、患者さまや地域に還元できるように、努力しております。

痛みやけがは、是非ご相談ください。しっかりと診させていただきます」。**取材協力**

整形外科　戸口医師 診療日

別の医師による整形外科診療

	月	火	水	木	金	土
午前	■	■	戸口医師	戸口医師	■	■
午後	■	—	■	■	戸口医師	—

ふれあい横浜ホスピタル　☎045-681-5101
中区万代町2-3-3［JR関内駅徒歩3分］

偏ることなく一連の医療で 最大効果が上がるように

この「人」に聞く

戸口 淳 医師

（とぐち あつし）

ふれあい横浜ホスピタル
【整形外科】

日本整形外科学会
整形外科専門医
認定脊椎脊髄病医
認定運動器リハビリテーション医
日本脊髄外科学会 専門医
日本脊椎脊髄病学会
脊椎脊髄外科指導医

○…「常に大切にしているのは、全ての過程が、治したい症状に良い効果をもたらすように、『トータルで100％を目指す』ことです。外科的な診療科では、どうしても手術に光が当たりますが、治療の一過程であり、その前の問診や触診、術後のリハビリテーションなど、全体を通してそれぞれが十分でなくては、良い結果は生まれません。その『全体を100％にすること』が、患者さまの満足度が高く、それぞれの状態に寄り添った治療になると考えています」。一般外傷や、専門分野である首や腰の疾患（頚椎症・頚髄症、腰部脊柱管狭窄症、腰椎椎間板ヘルニア、腰椎変性すべり症など）の治療のほか、回復期のリハビリテーションを担当しています。

○…学生時代にバレーボール部で養ったスポーツマン精神は節々に表れ、「礼儀として、診察室で自分から挨拶するように心掛けています。そして、ご家族との会話を含めて接しやすい雰囲気をつくることで、患者さまを取り巻く生活環境などから、診療に有用なヒントがないか、アンテナを立てています」と話します。特に回復期のリハビリテーションでは、高齢者の転倒による大腿骨近位部骨折（頚部骨折、転子部骨折）を多く扱うため、退院後の生活も考えていくことが重要になります。

○…一連の医療行為を最大限のものにするために、医師だけでなく、看護師・リハビリ療法士・検査技師などが力を合わせる必要性を実感しており、「医療スタッフが互いにもつ知識と技術、経験を出し合って成立する『チーム医療』では、スキルアップを並行していくことも大切だと思っています」と研修などにも精力的。真摯な表情の合間に、ニコッと溢れる笑顔が優しい医師です。

ふれあいグループ　シニアホテルシリーズ

シニアホテル東戸塚
サウスウイング
住宅型有料老人ホーム

申込みを開始しました
昼食付き見学会
6/5㈯～6/20㈰
7/3㈯～7/18㈰
上記期間に開催！

JR「東戸塚」駅 無料シャトルバス 5分

自由な生活と将来の介護準備
「住宅型」なので、自宅で過ごすのと同じような自由な生活があり、介護が必要になっても退去の必要はありません。さらに周囲にはケアマネ、訪問看護・介護・リハビリ、福祉用具レンタルなどの事業所が集まっているので、安心の老後を迎えられます。

月額利用料（食費込）
22万5,349円～
入居一時金
1,700万円～

365日24時間の医療連携
医療グループに所属しているので、多くの連携病院があり、特に「ふれあい東戸塚ホスピタル」からは24時間のサポートがあります。常駐の介護士、専属の看護師、連携病院からの理学療法士などをはじめとする専門スタッフによる充実のサポートで、安心感ある日々が送れます。

理学療法士による リハビリ体操（無料）は週3回！

ご入居までの流れ ▶ 見学・入居相談 → 面 談 → 体験入居など → 書類などの最終確認 → ご入居生活スタート!

資料請求・見学会お申込み・お問合せ
フリーダイヤル 0120-35-2240
受付時間 9:00～18:00
神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-15
東戸塚サウス 検索

交通アクセス
電車 JR横須賀線「東戸塚駅」西口から無料シャトルバス5分（徒歩では「東戸塚駅」西口から15分）
車 横浜新道「川上IC」または「今井IC」から5分（無料駐車場あり）

「居宅介護支援センター」を活用しよう！

高齢者数が増え、昔に比べてシニアやその家族が生活しやすくなるためのサービスも増えました。「居宅介護支援」「ケアマネジャー」などを知り、より良い生活を送るために、うまく活用していきましょう。

「居宅介護支援」とは、介護対象者（介護保険法での保険の給付対象者）に向けたサービスの一つです。「居宅」とは、住まいにいることを示し、その住まいでの「介護」の「支援」（サポート）を指します。

例えば、サービスの中の「訪問看護」では、看護師が住まいを訪問し、介護対象者の体調の確認や薬の管理などをサポートします。「訪問リハビリテーション」では、リハビリテーションを行なう療法士が住まいを訪問し、その生活環境で必要な機能訓練などを提供します。

このほか、ヘルパーが住まいを訪問して必要な支援をする「訪問介護」や、デイサービスと呼ばれている「通所介護」などがあります。

ケアマネの役割

居宅介護支援センターなどに所属する「ケアマネジャー」は、介護対象者がこれらのサービスを受けるにあたって必要になる「要介護認定」「要支援認定」の申請を代行したり、要介護・要支援者である本人やその家族へのヒアリングによって、生活環境などを確認してケアプランを作成し、各種の居宅サービスを提供している事業者との連絡調整を行なっています。

気軽に相談できる窓口

自宅での介護や、シニアライフの支援を受け始める時は、誰でも不安がつきものですが、そういった「まず、何から始めればよいのかわからない」「どこまで自分でやらなければならないのか心配」という場合には、「居宅介護支援センター（事業所）」で相談ができます。

地域にある各種のサービスを積極的に活用しましょう。

汐見台病院居宅介護支援センター
住み慣れた自宅で より快適なシニアライフを提案

康心会汐見台病院には、居宅介護支援センターが併設されています。ここは介護相談の窓口であり、病院と直に連携しているので、医療面に強い介護サポートなどの提案が受けられます。同センターの谷内和代ケアマネジャーのお話を紹介します。

汐見台病院
居宅介護支援センター
谷内和代ケアマネジャー

■入院患者に対して

「当院・康心会汐見台病院には、病院内に『居宅介護支援センター』があります。医療と介護を連携させた支援を行なうためです。

入院中や通院中の患者さま、近隣にお住まいの皆さまの今後のご自宅生活をサポートします」

「入院中の患者さまがご自宅へ退院する場合には、患者さまを中心とする医療・介護を連携させた〝チーム〟で退院支援を行ないます。

情報を共有しながら、医療と介護の切れ目のないケアを実現させるために、ご自宅生活を想定した援助やリハビリテーションを提供して、ただの介護保険のご利用だけでなく、ご自宅（住宅）の改修工事のほか、福祉用具の活用の検討などにも関わります」

■通院患者に対して

「通院中の患者さまの場合にも、同じように連携・支援を行ないます。

特に通院患者さまにおいては、病気の悪化を予防して病状の安定が得られるように、医師等と情報を共有して、ケアを実施します。看護師による自宅訪問で健康管理を行なったり、夜間・休日には救急外来でのサポートを提供しております」

■介護相談の窓口として

「最近、階段の上り下りや、坂道を歩くことがつらくなっていませんか？

『汐見台病院居宅介護支援センター』は、介護の相談窓口です。お年を召した方が、安心して介護保険を利用できるように、丁寧で心のこもった支援を行なっておりますので、サービス内容をお知りになり、これまでのご自宅生活がどのように快適な暮らしになるか、一度、考えてみませんか？是非ご相談ください」。

磯子駅などから無料シャトルバスを運行中

汐見台病院
居宅介護支援センター
☎045・761・3591
磯子区汐見台1の6の5

～17病院＋51保健福祉施設がサポート～
湘南医療大学 Shonan University of Medical Sciences
東戸塚キャンパス

OPEN CAMPUS

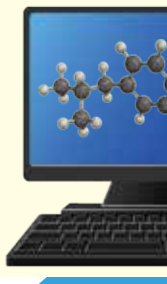
二学部［保健医療学部、薬学部］同時開催

5月29日(土)10:00~15:00　8月7日(日)10:00~15:00
6月26日(土)10:00~15:00　8月28日(日)10:00~15:00
8月6日(金)10:00~15:00　11月20日(土)14:00~16:00

close-up! 5/29(土)
オープンキャンパス 薬学部コーナーの企画を紹介（一部）

薬の分子を組立てる

薬の分子では三次元構造が重要です。「右手型」と「左手型」が存在する場合、一方は薬として効くが、もう一方は害になることもあります。実際に薬の分子を組立てて、立体感に触れてみましょう！



薬学部
高橋央宜 教授
担当科目 「物理化学」「物理化学実習」 ほか
研究分野 基礎化学、複合化学

バイタルサインの測定

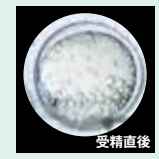
薬の効果を評価して、副作用を回避するためには、バイタルサインの的確な測定が必須です。フィジカルアセスメントモデル「フィジコ」を使ってバイタルサインの測定や、筋肉注射を体験してみませんか？

フィジコ▲

薬学部
加藤裕久 教授
担当科目 「医薬品情報学」「処方解析演習」 ほか
研究分野 情報フロンティア、腫瘍学

白血病の研究を発表

メダカは臓器や血液の形成過程の研究に適した「モデル生物」です。メダカを用いた白血病の研究を紹介します。モデル生物の活用方法も学べます！



薬学部
石田洋一 准教授
担当科目 「生化学」「生化学実習」 ほか
研究分野 生化学、基礎医学、腫瘍学

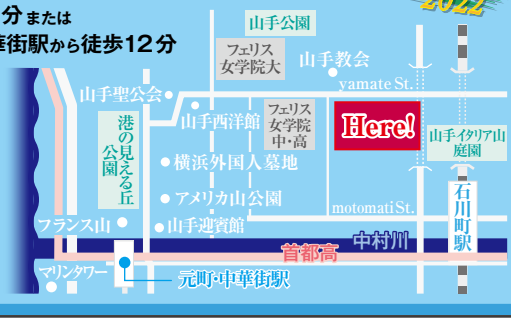
横浜山手キャンパス New Campus! 2022

JR石川町駅から徒歩8分またはみなとみらい線 元町・中華街駅から徒歩12分

2022年4月開設予定

看護学科（一部）で使用予定

所在地：神奈川県横浜市中区山手町27



湘南医療大学
東戸塚キャンパス
〒244-0806 神奈川県横浜市戸塚区上品濃16-48

入試事務室 ☎045-821-0115

保健医療学部
看護学科　リハビリテーション学科 ・理学療法学専攻 ・作業療法学専攻

薬学部
医療薬学科（2021年4月開設）

健康生活お役立ち新聞

横浜版
2021年5月
No.58

発行所　(有)エフ.アンド.ユアライフ　〒253-0084 茅ヶ崎市円蔵370-20　電話(0467)58-5678

自分らしい分娩の選択は 現代では必須事項に

ライフスタイルの変化によって、女性の出産スタイルは幅広くなっています。近年増えている「フリースタイル分娩」だけでなく、最近は痛みを緩和させる「和痛分娩」なども登場しています。

出産年齢の高齢化で変化

現代の分娩方法には、大きく分けて、自然分娩／帝王切開／計画分娩／和痛（無痛）分娩があります。

自然分娩では、それぞれが楽な姿勢で出産する「フリースタイル」や、痛みを和らげる呼吸法によるもの、好きな場所で出産する方法などがあります。

日本では、これまで自然分娩が一般的でしたが、最近では、出産年齢の高齢化などの背景から、「和痛分娩」が注目され、取り扱う病院が増えてきました。

分娩時の痛みを緩和

和痛分娩とは、麻酔などを使って出産時の痛みを和らげる方法です。これは痛みが0（ゼロ）になるわけではないので、個人差があるものの、陣痛や分娩時の痛みがあるので、妊婦本人がいきみ、出産を実感できるというものです。

痛みが緩和されることによって、妊婦がリラックスして出産できることを利点とした方法ですが、痛みに対する恐怖心が強い場合や、高血圧などを有している場合にも、適しているとされています。

実際に、痛みが少ない出産は、体力の消耗や、精神面での疲労感が減るため、産後の回復が早いようです。

主治医とよく相談して

「和痛分娩」と「無痛分娩」の違いは医学的に定義されておらず、麻酔を使用して痛みを緩和する方法をまとめて「無痛分娩」と表する病院もあります。和痛（無痛）分娩を希望する際には、その病院がどのような方法を行なっているかを確認することが大切です。〔例／康心会汐見台病院では、局所麻酔（神経ブロック）で産道の痛みを和らげる方法を「和痛分娩」としている。〕

体質によっては適さない内容もあるので、主治医と相談しながら決めましょう。

取材協力・康心会汐見台病院

出産の喜びをより実感する「和痛分娩」

康心会汐見台病院（磯子区汐見台1の6の5）では、分娩に対して、できる限り自然な出産を目指し、楽な姿勢で分娩する『フリースタイル』や、痛みの緩和を目的とした『和痛分娩』を取り入れています。

康心会汐見台病院
産婦人科 科長
中田 裕信 医師

――康心会汐見台病院では、産婦人科は小児科と連携していると聞きましたが…。

（同院・中田裕信医師）「はい、そうです。当院の産婦人科は、常勤医師3名、非常勤医師5名を配置〈21年4月現在〉して24時間必ず医師がいる体制をとり、大切なママと赤ちゃんに対する安全・安心なケアのために、小児科医と協力した診療体制を整えています」

――出産に対する貴院の方針を教えてください。

「当院では、できる限り自然なお産を推奨しています。

基本的な自然分娩のほか、あおむけ、横向き、よつんばいなど、楽な姿勢でお産することができる『フリースタイル分娩』にも対応しています。

そして、分娩時の痛みを緩和する目的として、『和痛分娩』も取り入れています」

――和痛分娩について、もう少し教えてください。

「当院の和痛分娩では、陣痛が強くなってきてから、『傍頸管ブロック』と『陰部神経ブロック』の局所麻酔を行ないます。神経をブロックし、産道の緊張や疼痛を和らげる方法です。胎児や陣痛に悪い影響はないとされています」

――ブロック注射は必ず2種類を行なうのですか？

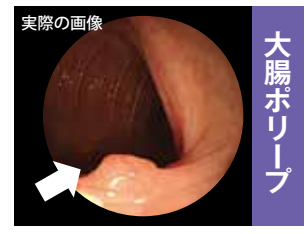
「お産の進行によっては、どちらか一方だけを行なうこともあります。再び痛みが強くなった場合は、麻酔の追加も可能です。当院の局所麻酔は、麻酔薬は少量、かつ注射針は先端1～2㎜のものを使用することで、合併症のリスクを低くしながら、痛みの緩和をねらいます。そして麻酔は産婦人科の担当医が行なうので、自然な陣痛が来た時に合わせた対応ができます。

『できる限り自然に産みたいけれど、不安がある…』という方は、この分娩方法もお考えいただくと安心かもしれません。当院の麻酔費用は1万円です（固定額・自由診療）。分娩病院をお探しの方は、ぜひ当院をご検討ください。ご相談をお待ちしております」。

■康心会汐見台病院
☎045・761・3581
磯子駅などから無料バスあり

内視鏡を使って 医療現場で行なわれていること

「内視鏡」とは、太さ1cmほどの細長い管に小型カメラ（CCD）またはレンズを内蔵したものです。「内視鏡検査」では、上部の場合は、この管を口または鼻から挿入して食道・胃・十二指腸の内部、下部の場合は肛門から挿入して大腸の内部を観察します。



多職種が関与

医療機器や技術の発達によって、内視鏡の応用範囲は広がり、以前に比べて診断から治療まで、スムーズに実施されるようになっています。

内視鏡スコープの種類により、長さや太さに多少の差はありますが、実際に内視鏡を操作して患者の体内へ挿入し、診断および治療を行なうのは、担当の医師です。

内視鏡室内では、医師のほか、看護師や内視鏡技師（臨床工学技士・診療放射線技師・臨床検査技師）なども参加して、サポートを行ないながら、検査や治療をしています。

知っていましたか？医療機器の実態

検査から治療まで活躍する「胃カメラ」

取材協力・ふれあい横浜ホスピタル

関内駅近くにある「ふれあい横浜ホスピタル」では、消化器系の診療体制が整っており、胃や大腸の検査から治療までを一貫して行なっています。内視鏡について、同院に寄せられる質問内容を紹介します。

【よくある質問①】
「内視鏡」とは、「胃カメラ」と呼ばれているものと同じものですか？そして、それを使った検査は、どのように行なうのですか？

（ふれあい横浜ホスピタルのスタッフ）「内視鏡と、一般的に『胃カメラ』と呼ばれているものは同じものです。しかし、観察する部位によって、胃（『胃内視鏡』）のほか、『食道鏡』『十二指腸ファイバースコープ』『大腸内視鏡』『気管支鏡』などがあり、それぞれ管（ファイバー）の太さが少しずつ異なります。

検査では、内腔を有する臓器の中に、先端にカメラを装填した管を挿入します。この管は屈曲が自由で柔らかいので、口から食道、胃、十二指腸へ進み、または口から声帯を介して気管、気管支の内腔を観察できます。肛門からは大腸へ進みます」。

【よくある質問②】
内視鏡検査では何がわかるのですか？そして内視鏡で検査するメリットはありますか？

（同）「内視鏡検査の主な目的は、内腔面を覆う粘膜の変化を見つけ、その粘膜の一部をつまみ取り（生検）、顕微鏡で観察して粘膜を構成する細胞の性格がよいか（良性）、悪いか（悪性＝がん）を判定することにあります。ですから、消化器の『がん』を調べることができます。

内視鏡では、微少ながんを早期に発見することができ、さらに微少ながんを見つけたら、その部分を含めて粘膜を切除する治療もできるという長所があります」。

内視鏡検査は、ふれあい横浜ホスピタル（中区万代町2の3の3☎045・681・5101）へ！

〈取材協力〉

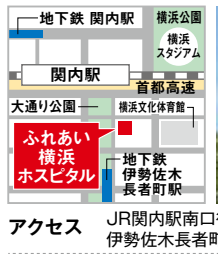
消化器系の内視鏡検査は…
▲ファイバースコープ付胃カメラ
ふれあい横浜ホスピタル
横浜市中区万代町2-3-3
☎045-681-5101

医学講座　参加無料

日時 **6月30日**（水）14:00～15:00
会場 **ふれあい横浜ホスピタル 2階 会議室**
講師 ふれあい横浜ホスピタル 整形外科 **戸口 淳** 医師

ロコモティブシンドロームと脊柱管狭窄症

加齢などにともなう運動器の衰えや障害（ロコモティブシンドローム）が起因する「脊柱管狭窄症」という疾患について、首から背中の分野に長けた戸口医師が、専門的な視点で要因・予防策をわかりやすく解説します。



事前予約制（定員10名様）で開催！
三密を避けて開催するため、必ず電話予約をお願いします。会場では、感染対策にご協力いただきます。
※定員になり次第、受付終了

アクセス　JR関内駅南口徒歩3分、横浜市営地下鉄伊勢佐木長者町駅徒歩3分

お問合せ　ふれあい横浜ホスピタル ☎045-681-5101（代表）
横浜市中区万代町2-3-3

オンライン医学講座　参加無料

日時 **6月23日**（水）15:00から
会場 **インターネット配信により各ご自宅で**
講師 康心会汐見台病院 外科 **赤池 信** 院長

トイレで出来る健康セルフチェック！ ～便は健康のバロメーター～

用を足したら、すぐに流さず、ちょっと気にしてみてください。便は健康状態を教えてくれる重要な情報源！当院の赤池院長が、便が教えてくれるサインを見逃さないように、簡単にできる「セルフチェック」のポイントを解説します。是非、ご視聴ください。

視聴方法は、必ず事前にご確認を！

「オンライン医学講座」では、インターネットの動画で無料受講ができます。

QRコードから当院ＨＰで詳細をご確認ください。
ホームページ

お問合せ
康心会汐見台病院
☎045-761-3581（代表）
横浜市磯子区汐見台1-6-5